



まる

～ STOP！特殊詐欺 ～

○っとあいち・絆プロジェクト (だましの手口：オレオレ詐欺編)

息子や孫をかたり「カバンをなくした」「カバンを盗まれた」など言って現金を要求する手口のオレオレ詐欺が、再び増加し、実際に被害も発生しています。そこで、昨年9月から毎月の定期報でご紹介したオレオレ詐欺の手口を「総集編」として再編しました。今回はその第1回です。こちら是非ご一読ください。

実録

だましの手口 ～ オレオレ詐欺 総集編 第1回～

第1回 自宅への電話

●月×日午後1時ころ、一人暮らしのお年寄りAさんの自宅の固定電話に一本の電話が入りました。その時のやり取りは次のようなものでした。

男：「お母さん」

Aさん：「太郎かい？」

男：「そうそう太郎、最近カゼひいて喉の調子がおかしいんだ。明日は仕事休んで病院に行こうと思ってる。最近そっちに顔を出してないから、病院の後にちょっと寄って行くよ。明日の11時ころ、家にいる？」

Aさん：「大丈夫だよ。体を大事にするんだよ。」

Aさんは、久しぶりに息子に会えるのを楽しみにしていましたが、この翌日、Aさんの自宅には「太郎」からお金を要求する電話が入ったのです。

第2回 カバンの紛失

最初のアポ電話が入った翌日、息子の太郎に会えることを心待ちにしていたAさんの自宅に、太郎を騙る男から電話が入りました。

男：「あ、太郎だけど。今日病院行く予定だったけど、急に仕事で休めなくなって…。それでそっちに行けそうにないんだ。あと、ちょっと大変なことになってて…」

Aさん：「どうしたの？大丈夫？」

男：「実は、体調が悪かったから駅のトイレに入ったんだけど、そこで会社の大事な書類や小切手、それに携帯電話を入れたカバンを忘れちゃったんだ…。戻った時にはもうなくて、出てこない会社に迷惑かけることになるんだ。今、一緒に居た上司と探してるけど見つからなくて、駅の遺失物センターに届けたんだけど、連絡先をお母さんのところにしたから、そっちに連絡があったら教えて。あ、今携帯がないから上司の番号教えるね。メモしてくれる？番号は「070…」ね。前の番号には電話しないで。悪い奴が持ってるかもしれないからさ。連絡があったら今の番号に連絡してくれる。」

Aさん：「わかったよ。連絡があったら、今教えてもらった番号に電話するね。」

Aさんが息子のことを心配していたところに、「駅の遺失物センター」からカバンが見つかったと連絡がありました。(総集編第2回につづく)

下線は、この手口のキーワード(犯人のねらい)です。
このような手口をご家族、地域で伝えていただくようお願いします。



まる

～ STOP！特殊詐欺 ～

○っとあいち・絆プロジェクト (だましの手口 オレオレ詐欺編)

依然として、「カバンを無くした」という電話からスタートする典型的なオレオレ詐欺の前兆電話があります。実際に被害も発生していますので、以前ご紹介した手口をもう「総集編」で再編集しました。

下線は、この手口のキーワードです！ご家族、地域の方にご注意いただくようお願いください！！

実録

だましの手口 ～ オレオレ詐欺総集編 第2回～

第3回(遺失物センターからの連絡、そして現金の要求)

息子の太郎がカバンをなくしたものと思い、自宅で連絡を待っていたAさんに「遺失物センターの職員を騙る男」から電話が入り、その後、太郎を騙る男から電話が入りました。

職員:「Aさんのお宅ですか？私、遺失物センターのフリコミと申します。こちらに太郎さんのカバンが届いていますが、ご本人確認のために太郎さんの生年月日とお勤め先を教えてくださいいただけますか？」

Aさん:「見つかってよかった。太郎は昭和55年×月○日生まれ、仕事は株式会社△△です。」

職員:「本人確認できました。それでは、太郎さんに連絡して、こちらにカバンを取りに来ていただくように伝えてください。」

その後Aさんは、息子の太郎を騙る男から教えられた番号に電話をしてしまいました。

男:「カバンがあったんだね。よかった。すぐに遺失物センターに行ってみるよ。」

そう言って電話を切りましたが、しばらくすると、また太郎を騙る男から電話が入りました。

男:「お母さん？カバンはあったんだけど、今日の取引で現金800万円が必要なんだ。小切手もあったし2,3日後には返せるけど、今日、どうしても現金が必要なんだ。上司もお母さんをお願いして400万円用意してもらったから、あと400万円貸してくれないかな？」

こうしてAさんは、太郎を騙る男から現金を要求されました。

第4回(現金の準備)

現金400万円を要求されたAさんは、とにかく息子を助けたい一心でお金を準備することにしました。そのことを太郎をかたる男に伝えた時のやり取りは次のようなものでした。

男:「ありがとう。本当に助かるよ。だけど・・・400万円はどうやって準備するの？」

Aさん:「万一に備えて家にあるお金を集めたら200万円くらいはあるから。あとは銀行の定期を解約するよ。」

男:「そう。今は金融機関でも振り込め詐欺の警戒をされていて、大金をおろすのは大変なんだよ。いろいろ理由を聞かれたりしてお金の準備がおくれると会社にも迷惑掛けるし、今回は自分のミスだから、とりあえず家にある200万円を準備してくれない？残りの200万円は上司に相談してみるよ。」

Aさん:「わかったよ。200万円で大丈夫なんだね。」

男:「うん。助かるよ。あと心配掛けたくないから父さんにも言わないでくれる？」

Aさん:「わかったよ。とにかく家にあるお金を見てみるね。」

電話を切りAさんが家にある現金を集めていたところに、また、太郎を騙る男から電話が入りました。



まる

～ STOP！特殊詐欺 ～

○っとあいち・絆プロジェクト (だましの手口 オレオレ詐欺編)

最近でも、「カバンを無くした」という電話からスタートする典型的なオレオレ詐欺の前兆電話があります。以前ご紹介した手口をもう「総集編」で再編集しましたが、総集編も今回が最終回です。

下線は、この手口のキーワードです。もう一度確認していただき、家族で、地域でご注意ください！！

実録

だましの手口 ～ オレオレ詐欺総集編 最終回～

第5回(同僚が取りに行く)

息子の太郎を騙る男から、とにかく200万円を準備して欲しいと言われ、自宅にある現金を準備していたところに、また太郎を騙る男から電話が入りました。

男：「お母さん？200万円は準備できそう？」

Aさん：「大丈夫。家に置いてあった現金を集めたら200万円あったよ。」

男：「ありがとう。本当は自分を取りに行きたいけど、今、カバンを返してもらおう手続きをされていて、どうしても本人が手続きしないとダメなんだ。かなり時間がかかりそうで……。でもお金はすぐに必要なんだ。それで、今一緒に居る会社の上司に相談したら近くで営業してた同僚のスズキが取りに行ってくれることになったから、スズキにお金を預けてもらえないかな？」

Aさん：「そうかい。でも大金だし、ちゃんと顔を見て渡したいけど。なんとかならないかい？」

男：「行きたいけどダメなんだ。とにかく時間がないんだ。手続き終わったら必ずお礼に行くよ。」

Aさん：「仕方ないね。じゃあ家で待ってればいいんだね。」

第6回(現金の手渡し)

電話を切ったAさんが自宅で待っていると、玄関のチャイムが鳴り、若い男が立っていました。

Aさん：「あなたがスズキさんですか？」

スズキ：「はい。この電話に出てください。」

スズキはそう言って、持っていた携帯電話を差し出しました。

男：「もしもし、お母さん？そこにいるのがスズキだから準備した現金を渡してあげて。スズキは事情をよく知らないし、心配するから詳しい話はしないでくれる。」

Aさん：「わかったよ。太郎の体も心配だから一緒に缶詰も入れておくれ。しっかり食べるんだよ」

男：「ありがとう。スズキに電話代わって」

Aさんは、携帯電話をスズキに渡したあと、現金200万円と缶詰を入れた紙袋をスズキに手渡ししてしまいました。

スズキは足早にその場を離れ、Aさんは一息ついたその日の夜、電話の横にあるメモ帳に控えていた「太郎」の電話番号に電話しました。

電話に出た太郎は、元気な声で、カバンも無くしていないことがわかり、その時はじめて「だまされてしまった」ことに気が付いたのでした。(おわり)